

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190200446		
法人名	社会福祉法人 唐津市社会福祉協議会		
事業所名	唐津市社会福祉協議会認知症対応型共同生活介護事業所おうか		
所在地	佐賀県唐津市相賀5134番地2		
自己評価作成日	令和5年1月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和5年2月10日	外部評価確定日	令和5年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者様が住み慣れた地域の閑静な環境のもと、家庭的な雰囲気の中で安らぎと温もりを感じながらゆったりとした時間を過ごすことができます。また、入居者様が出来るだけ元気に笑顔で楽しく過ごせるようにと、毎朝の棒体操、軽体操、音楽に合わせた体操を日課とし、午後から塗り絵やカード合わせ、洗濯物たたみ等を手伝って頂きながら過ごして頂いています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>海と山に囲まれた閑静な環境に2棟のグループホームは建っており、その内1棟は4年前に建てられた新しいグループホームである。中に入ると、設えからグループホームの雰囲気が違い、利用者はそれぞれの時間をゆっくりと過ごされている。管理者は「歩く事ができる利用者は歩けることが維持できるように」「今ある身体機能をできるだけ維持できるように」と、ラジオ体操だけでなく、棒体操や歌を取り入れながらの体操をしたり、カード合わせや漢字を使ったレクリエーションをしたり、職員・利用者共に楽しめる工夫や時間を作ることに力を入れている。また、コロナ禍で家族と会う・話す機会が減り、グループホームの状況が見えない事から、LINE・インスタグラム・FacebookなどSNSを開設し、毎月「おうかだより」を作成するなど、グループホームの状況を日々伝える事を心がけており、家族から安心・喜びの声を頂いている。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の基本理念を毎朝、申し送り時に復唱し理念の共有を意識付けしながらケアに取り組むようにしているが、職員の不足や入替わりにより、理念の復唱もできない日があり、なかなか理念の共有や実践に繋がらずにいる。	事業所独自の基本理念を毎朝、申し送り時に復唱し理念の共有を意識付けしながらケアに取り組むようにしているが、職員の不足や入替わりにより、理念の復唱もできない日があり、なかなか理念の共有や実践に繋がらずにいる。	グループホームの理念は玄関に掲示しているが、グループホームの理念に基づいた施設標語も作成している。施設標語は前任の管理者と職員で作成されたものであり、職員が関わって作成したという事で、その思いは今も変わらず事業所内に掲示している。時間がある時には、意識するために復唱したり、職員会議や研修の時にはケアを見直すために、標語を基に振り返ることもある。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナの影響から交流自体が少なく、行事等にもご家族様や地域の方などを招いていたがそれもここ数年できずにいる。だが、毎年、1月に地域の方が獅子舞をかぶり厄除けに施設へ訪問して下さるので、玄関先だけにはなっているが、それだけは中止せず訪問して頂いている。新型コロナが落ち着いていけば、行事等への参加を再開したいと思っている。	新型コロナの影響から交流自体が少なく、行事等にもご家族様や地域の方などを招いていたがそれもここ数年できずにいる。だが、毎年、1月に地域の方が獅子舞をかぶり厄除けに施設へ訪問して下さるので、玄関先だけにはなっているが、それだけは中止せず訪問して頂いている。新型コロナが落ち着いていけば、行事等への参加を再開したいと思っている。	コロナ禍で地域の行事自体が減り、参加する機会も少なくなったが、昔から行われている獅子舞を被って厄除けを行う行事は、利用者が忘れないためにも継続して続けてもらっている。 地域とのつながりの機会を持つことが難しいため、こちらから道の駅などの地域に出て行き地域と関わられるように支援している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	限られた職員の中で可能な限り、認知症に関わる研修を受講するように努めているが、地域に向けて活かすことはできていない。	限られた職員の中で可能な限り、認知症に関わる研修を受講するように努めているが、地域に向けて活かすことはできていない。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様の状況やヒヤリハットなどを毎回報告し、運営推進委員の意見やアドバイスを受け、それに基づき改善を図っている。	入居者様の状況やヒヤリハットなどを毎回報告し、運営推進委員の意見やアドバイスを受け、それに基づき改善を図っている。	運営推進会議はコロナ禍でもほぼ行っている。委員には管理者が直々に招待状を自宅まで持って行き、話をするなどし関わりを深めている。 密にならないために、公民館を借りて行っているが、グループホームに来られる機会も減る為、写真などを多く取り入れ分かりやすく伝えるために会議の内容を工夫している。家族や介護相談員からの意見なども多く聞かれている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	密の連携は行っていないが、制度に関する疑問点などはその都度、市の担当者に確認・相談を行っている。	密の連携は行っていないが、制度に関する疑問点などはその都度、市の担当者に確認・相談を行っている。	制度や加算などで分からない事はよく聞いている。運営推進会議のメンバーでもあり、良好な関係は築けている。 市には毎月待機者や空室状況なども報告しており、市とグループホーム連絡会との交流も深い。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月に1回、「身体拘束適正化検討委員会」を開催しケアの振り返りや研修動画の視聴をして勉強会などを行い、身体拘束しないケアに取り組んでいる。	3ヶ月に1回、「身体拘束適正化検討委員会」を開催しケアの振り返りや研修動画の視聴をして勉強会などを行い、身体拘束しないケアに取り組んでいる。	研修動画を見られるよう環境を整えられており、職員全員が研修を受けられる機会を設けている。また、3か月に1回は会議を行い議事録にもしっかり残してある。会議では職員の考えが上司にも伝わるよう一人一人の意見をしっかりと聞いている。玄関は施錠せずいつでも出入りできるようにしている。センサー類も使用しているが、本当に必要かどうかその都度職員で話し合い、事故の予防にも努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	可能な限り、研修動画などを視聴し、職員間で話し合っている。また、入浴時などに全身観察を行っており、皮膚等に気になる異変があれば、管理者その他の職員に報告し原因を話しあっている。	可能な限り、研修動画などを視聴し、職員間で話し合っている。また、入浴時などに全身観察を行っており、皮膚等に気になる異変があれば、管理者その他の職員に報告し原因を話しあっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今、現在は成年後見制度を利用されている方はいないが、研修を受けたりして成年後見制度についての理解を深め、必要な時には活用できるようにしていきたい。	今、現在は成年後見制度を利用されている方はいないが、研修を受けたりして成年後見制度についての理解を深め、必要な時には活用できるようにしていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、契約書及び重要事項説明書等に基づいて、説明を行い、ご家族様などに理解・納得して頂けるように努めている。	契約時、契約書及び重要事項説明書等に基づいて、説明を行い、ご家族様などに理解・納得して頂けるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様との日頃の関りや定期モニタリング時等にご家族様への要望等を伺い、対応できる内容については、職員に周知・対応を図っている。	利用者様との日頃の関りや定期モニタリング時等にご家族様への要望等を伺い、対応できる内容については、職員に周知・対応を図っている。	モニタリングや面会時にご家族から意見を聞くようにしているが、電話で聞く事もある。LINEを開設し、家族に登録してもらっている。LINEでのやり取りの時に、要望なども尋ねるようにしている。InstagramやFacebookも開設しグループホーム内の状況を伝えているからか、家族からの要望はほとんどなく、お礼や感謝を伝えられる事が多い。毎月、便りも作成しておりご家族には喜ばれている。いつでも要望を言ってもらえる関係作りは出来ている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回の職員会議や経営推進会議などで意見や要望等言える機会を設けている。また、年1回の「勤務成績評定票」の際も意見等を反映させる機会がある。	毎月1回の職員会議や経営推進会議などで意見や要望等言える機会を設けている。また、年1回の「勤務成績評定票」の際も意見等を反映させる機会がある。	毎月1回の職員会議や年1回の成績評定票でも上司に意見を言えるが、日々のケアの中でも意見が出たら議題に挙げて話し合うようにしている。また管理者は人間関係が大事と考えられており、意見が言いやすい雰囲気を作っている。新しい職員の話聞いて、良いと思ったことは取り入れるなど、柔軟に対応する姿勢もあり、職員にも伝わっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	「勤務評定票」などにより勤務状況等を把握している。職員の相談窓口も法人内に設置し、相談できる環境を整備し働きやすい環境整備に努めている。	「勤務評定票」などにより勤務状況等を把握している。職員の相談窓口も法人内に設置し、相談できる環境を整備し働きやすい環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に1回勤務評定を行い、職員の介護等の力量等の把握に努めている。また、研修計画に基づいて、職員全員が研修の受講ができるようにしている。	年に1回勤務評定を行い、職員の介護等の力量等の把握に努めている。また、研修計画に基づいて、職員全員が研修の受講ができるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「唐津グループホーム連絡会」にて、交流や勉強会に極力参加するように努めているが、新型コロナの影響や職員の不足により参加できずにいる。	「唐津グループホーム連絡会」にて、交流や勉強会に極力参加するように努めているが、新型コロナの影響や職員の不足により参加できずにいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期には時間をかけ、じっくりと話を聞くことで、ご本人様の不安や悩みを打ち明けやすくし、不安や要望等に傾聴して関係づくりを図っている。	初期には時間をかけ、じっくりと話を聞くことで、ご本人様の不安や悩みを打ち明けやすくし、不安や要望等に傾聴して関係づくりを図っている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期面談や入所申込時等に、ご家族様の困りごとや要望等を把握するように心がけて、信頼が得られるように努めている。	初期面談や入所申込時等に、ご家族様の困りごとや要望等を把握するように心がけて、信頼が得られるように努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期時にご家族様の思いなどをお聞きし、詳しく理解することから行い、施設で支援可能な事と支援できない事を説明し、ご本人様及びご家族様の要望等を取り入れて支援するように努めている。	初期時にご家族様の思いなどをお聞きし、詳しく理解することから行い、施設で支援可能な事と支援できない事を説明し、ご本人様及びご家族様の要望等を取り入れて支援するように努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設での日常生活の中で、その人の能力に合わせ、出来る家事等のお手伝いをして貰っている。	施設での日常生活の中で、その人の能力に合わせ、出来る家事等のお手伝いをして貰っている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には定期的な面会をお願いしている。また、ご家族様を招いた行事等を開催し、可能であれば他科受診にも同行して頂いている。(今現在は、新型コロナ感染の影響により面会や行事等が制限されてしまっている)	ご家族様には定期的な面会をお願いしている。また、ご家族様を招いた行事等を開催し、可能であれば他科受診にも同行して頂いている。(今現在は、コロナ感染拡大の影響により面会や行事等が制限されてしまっている)			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人等の面会は少ないので、定期的に馴染みの場所等にドライブに出かけたりして、馴染みの場などが途切れないようにという思いはあるが、職員の不足や新型コロナの影響により、出かけたりすることが出来ず、関係継続の支援に繋がれずにいる。	知人・友人等の面会は少ないので、定期的に馴染みの場所等にドライブに出かけたりして、馴染みの場などが途切れないようにという思いはあるが、職員の不足や新型コロナの影響により、出かけたりすることが出来ず、関係継続の支援に繋がれずにいる。	利用者との関係性を家族から聞き、できるだけ関係が途切れない支援をしたいと考えている。心配した知り合いの方が電話をかけてきたり、自宅に溜まっていた郵便物を届けに来てくれたりすることもある。また、以前から関わりがある方が、継続して利用者の散髪に来てくださるなど、関わった縁を大事にされている。外出の相談もあっており、コロナが落ち着けば支援したいと考えられている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃から利用者様同士の関係を見ながら、また、利用者様の意思を尊重しながら、リビング内で過ごせる時間を大切に、利用者様の関係性が保てるように、席を変更したり、職員が代弁したりするように努めている。	日頃から利用者様同士の関係を見ながら、また、利用者様の意思を尊重しながら、リビング内で過ごせる時間を大切に、利用者様の関係性が保てるように、席を変更したり、職員が代弁したりするように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院になったり、他施設へ変わられても、状況を確認したり、ご家族様への相談等にも応じるように説明している。また、現在もボランティアで施設の利用者様の散髪をして下さっているご家族様もおられる。	長期入院になったり、他施設へ変わられても、状況を確認したり、ご家族様への相談等にも応じるように説明している。また、現在もボランティアで施設の利用者様の散髪をして下さっているご家族様もおられる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その都度、ご本人に対して、意向の確認を行っている。また、利用者様との会話等から思いや希望等の把握に努めている。意向等の把握が困難な場合は、ご家族様の意向等を参考にして検討するように努めている。	その都度、ご本人に対して、意向の確認を行っている。また、利用者様との会話等から思いや希望等の把握に努めている。意向等の把握が困難な場合は、ご家族様の意向等を参考にして検討するように努めている。	会話の中や昔の話などから思いを聞き取ったり、こちらからできるだけ声をかけ聞き取るようにしている。お腹がすく利用者には小分けしておやつなどを提供するなど、その方の思いを大事にしケアを行っている。自宅に帰りたい利用者には、家の近くまでドライブを行うなど、ご家族にも報告や協力を仰ぎ、叶えられるように支援している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との会話やご家族様からの情報などアセスメントを行い、その人の生活スタイルの把握に努めている。	ご本人様との会話やご家族様からの情報などアセスメントを行い、その人の生活スタイルの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は常日頃からご利用者様と関わりを持ち、個々の現状把握に努め、新たな発見や変化等があればその都度、ケース記録やホーム日誌に記録し、朝・夕の申し送り時など報告し情報が共有できるようにしている。	職員は常日頃からご利用者様と関わりを持ち、個々の現状把握に努め、新たな発見や変化等があればその都度、ケース記録やホーム日誌に記録し、朝・夕の申し送り時など報告し情報が共有できるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング等に、ご本人様やご家族様の要望等を把握し、その都度職員に伝え、情報を共有している。また、評価時には職員や家族で話し合い、意見等を踏まえた介護計画書を作成している。	モニタリング等に、ご本人様やご家族様の要望等を把握し、その都度職員に伝え、情報を共有している。また、評価時には職員や家族で話し合い、意見等を踏まえた介護計画書を作成している。	毎月モニタリングは行われている。職員は担当制になっており、ケアプランに対しての評価を毎月詳しく書面に残されている。また、その評価に対して計画作成担当者の意見も記載されている。医師からもサービスに対し意見をもらい、サービス担当者会議にもご家族が参加されている。利用者に関わる様々な職種、家族の意見はケアプランに反映されており、しっかりと情報共有も図られている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	担当職員が毎月評価する「介護サービス計画評価表」を確認し、意見等を踏まえ介護計画の見直しの必要性を検討している。	担当職員が毎月評価する「介護サービス計画評価表」を確認し、意見等を踏まえ介護計画の見直しの必要性を検討している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々のご本人やご家族との関わりの中で、希望・要望等が生まれた際には、出来る限り意向に添えるように柔軟に対応していきたい。	日々のご本人やご家族との関わりの中で、希望・要望等が生まれた際には、出来る限り以降に添えるように柔軟に対応していきたい。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後も運営推進会議等の情報や意見を活用して支援していきたい。	今後も運営推進会議等の情報や意見を活用して支援していきたい。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な往診などにより、常日頃からかかりつけ医との連携を図っている。些細な事でも医師に報告し指示を仰ぐようにしている。また、結果をご本人様、ご家族様に報告している。主治医やご家族様の同意により他科受診が必要があれば紹介状を持参して適切な医療を受けられるように支援している。	定期的な往診などにより、常日頃からかかりつけ医との連携を図っている。些細な事でも医師に報告し指示を仰ぐようにしている。また、結果をご本人様、ご家族様に報告している。主治医やご家族様の同意により他科受診が必要があれば紹介状を持参して適切な医療を受けられるように支援している。	協力医はいるが、利用者・家族の希望によってかかりつけ医は決める事が出来る。他科受診は基本家族にお願いしているが、難しい場合は職員で付き添い、家族には報告をしている。協力医は定期の往診だけでなく、24時間対応され、緊急時にも来てくれるため利用者・職員にとって心強い。また、正看の職員もいるため、些細な事でも相談できたり、状態変化時もすぐに対応できることは大きな強みである。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が主となり、日々の健康管理を介護職員と支援している。	看護師が主となり、日々の健康管理を介護職員と支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関への同行、診察の立会い、「入院時情報提供書」を提供し看護師やソーシャルワーカーとの情報交換を行い、現状の把握に努めている。	入院時には医療機関への同行、診察の立会い、「入院時情報提供書」を提供し看護師やソーシャルワーカーとの情報交換を行い、現状の把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に緊急時及び終末期における医療や介護に関する意思確認書にて、説明し同意を得ている。また、利用者様の状態により、ターミナルとなりうるケースについては、主治医、家族、施設と3者で面談し、終末期の在り方について話し合いを行っている。	入所時に緊急時及び終末期における医療や介護に関する意思確認書にて、説明し同意を得ている。また、利用者様の状態により、ターミナルとなりうるケースについては、主治医、家族、施設と3者で面談し、終末期の在り方について話し合いを行っている。	看取りを希望すれば対応できる。看取りの経験もある。看護師もいるため医師と連携しながら行っている。状態変化とともに必要に応じて、ご家族とは何度も話し合いを行っている。必要な時には、主治医の先生にも説明してもらっている。グループホームでの看取りを希望される家族は増えた。管理者は職員へ安心できるような体制づくり・声かけを行っているが、今後は研修などもしっかり行っていきたいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時には主治医や看護師の指示等に従って対応している。また、職員一人一人が緊急時の対応ができるように研修会に参加したり、勉強会を行うようにしている。	急変時には主治医や看護師の指示等に従って対応している。また、職員一人一人が緊急時の対応ができるように研修会に参加したり、勉強会を行うようにしている。	/	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防避難訓練を実施しているが、1年に1回は消防署の協力を得て訓練を行うようにしている。しかし、火災等の訓練のみで、地震や水害等の訓練はできていないため、色んな想定での訓練を実施していきたい。	年2回、消防避難訓練を実施しているが、1年に1回は消防署の協力を得て訓練を行うようにしている。しかし、火災等の訓練のみで、地震や水害等の訓練はできていないため、色んな想定での訓練を実施していきたい。	年に2回避難訓練は行っている。消防署にも参加してもらい、助言ももらっている。消火器訓練も行っている。建物は両側にスロープが設置されており、安全に誘導できるようになっている。備蓄品(カップラーメンや水、毛布)なども準備されていた。公民館が避難場所にはなっており、土砂の安全のためにフェンスも設置されているが、風水害の時など施設に留まるか、避難するかは検討中。BCPも早めに作成したいと考えられていた。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の尊厳を大切に、優しい言葉かけを心掛けながらケアを行っているが、不十分な面が多々ある。	利用者一人一人の尊厳を大切に、優しい言葉かけを心掛けながらケアを行っているが、不十分な面が多々ある。	優しい声かけを心がけているが、気になる時はその場で注意したり、会議などで話し合い振り返ってもらう事もある。入浴はマンツーマン入浴を行っており、羞恥心にも配慮している。排泄時も必ずドアを閉める、職員に付き添われたくない利用者には、コールを押してもらうよう声かけしたり、分からないように見守りをするなど心がけている。利用者一人一人の思いを大切に考えられるよう接遇とマナーの勉強会も行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常日頃の言葉かけの中で、自己決定を促す言葉かけを行うようにしているが、職員都合で支援している部分が多々ある。	常日頃の言葉かけの中で、自己決定を促す言葉かけを行うようにしているが、職員都合で支援している部分が多々ある。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の不足や入れ替わりにより、職員の都合で経過してもらうことが多く、利用者様一人一人の希望に沿っての支援が出来ずにいる。	職員の不足や入れ替わりにより、職員の都合で経過してもらうことが多く、利用者様一人一人の希望に沿っての支援が出来ずにいる。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った服か、汚れや乱れ、爪や髭など身だしなみには気を付けている。また、ご家族の協力によりボランティアで散髪をして頂いている。	季節に合った服か、汚れや乱れ、爪や髭など身だしなみには気を付けている。また、ご家族の協力によりボランティアで散髪をして頂いている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	平日の昼食と夕食については、レストランに委託している。施設職員がご利用者様ひとり一人に応じた食事形態で提供している。なお、朝食及び日祝日については施設職員が調理している。	平日の昼食と夕食については、レストランに委託している。施設職員がご利用者様ひとり一人に応じた食事形態で提供している。なお、朝食及び日祝日については施設職員が調理している。	平日はレストランに食事を委託しているが、日曜日と祭日は職員で作成しており、献立も立てている。その時に利用者の要望も聞き入れている。おやつなども手作りで作ったり、利用者も一緒にできる家事(クリームを塗ってもらう・台を拭いてもらう)は行っている。行事や季節を感じられるような料理も提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表により食事や水分の摂取量を記録している。体重を定期的に観察し、食事の量など調整している。ご利用者様ひとり一人に応じた対応を行っている。	食事チェック表により食事や水分の摂取量を記録している。体重を定期的に観察し、食事の量など調整している。ご利用者様ひとり一人に応じた対応を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の能力に応じ、毎食後口腔ケアを行ってもらっている。また、義歯の不具合や痛み等があれば、協力歯科医による訪問診療をお願いしている。	個々の能力に応じ、毎食後口腔ケアを行ってもらっている。また、義歯の不具合や痛み等があれば、協力歯科医による訪問診療をお願いしている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	「排泄チェック表」にて排泄パターンを把握し、定期的に声掛けを行いトイレでの排泄を促している。また、夜間などは容易に排泄できるように、ポータブルを使用している。	「排泄チェック表」にて排泄パターンを把握し、定期的に声掛けを行いトイレでの排泄を促している。また、夜間などは容易に排泄できるように、ポータブルを使用している。	日中はできるだけトイレでの排泄を行ってもらえるよう、時間を見て声かけ・誘導している。夜間でも起きられる方はトイレ誘導しているが、利用者によっては安全に排泄ができるようポータブルトイレを使用している。トイレ誘導により排泄のADL(日常生活動作)が上がった方もおられた。オムツも家族の負担になることを職員が考えられるよう管理者は伝えている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトや牛乳などの乳製品を提供したり、水分摂取時には飲み物の工夫をし飲み残し等のないよう提供している。また、予防策として軽体操による運動を実施している。それでも、便秘になる場合は主治医へ相談し緩下剤の処方を受けている。	ヨーグルトや牛乳などの乳製品を提供したり、水分摂取時には飲み物の工夫をし飲み残し等のないよう提供している。また、予防策としてテレビ体操による運動を実施している。それでも、便秘になる場合は主治医へ相談し緩下剤の処方を受けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	家庭的な浴室、浴槽で、マンツーマンによる介助にて入浴して頂いている。基本的に曜日や時間帯(午後)を決めて入浴支援しているが、ご本人様に意思確認を行いながら、嫌がられる時などは曜日の変更などを行いながら支援している。	家庭的な浴室、浴槽で、マンツーマンによる介助にて入浴して頂いている。基本的に曜日や時間帯(午後)を決めて入浴支援しているが、ご本人様に意思確認を行いながら、嫌がられる時などは曜日の変更などを行いながら支援している。	週に2回、入浴を行っているが毎日準備しており、体調不良時や気分が乗らない時は曜日をずらすなどして対応している。入浴剤を入れて気分転換も図っている。脱衣所にもエアコンがついており、ヒートショック対策もされている。浴槽は家庭的な浴槽ではあるが、リフト付きで座って安全に入られるようになっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様やご家族様からの希望時など、健康上休息が必要な場合などは、いつでも安静臥床ができるように対応している。少しでも安眠できるように、布団などはご自身の使い慣れた物を使用して頂いている。	ご本人様やご家族様からの希望時など、健康上休息が必要な場合などは、いつでも安静臥床ができるように対応している。少しでも安眠できるように、布団などはご自身の使い慣れた物を使用して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容は、個人別のファイルに綴り、いつでも確認ができるようにしている。追加や変更等があった場合には、その都度ホーム日誌に記載し、職員間の周知を図り、その後の経過観察を主治医に報告している。	処方内容は、個人別のファイルに綴り、いつでも確認ができるようにしている。追加や変更等があった場合には、その都度ホーム日誌に記載し、職員間の周知を図り、その後の経過観察を主治医に報告している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の役割や楽しみごとの支援については、自分から動ける方などに支援が偏ってしまいがちになってしまっているので、ご利用者様の生活歴を踏まえた一人ひとりの支援と気分転換が図れるように努めたい。	ご利用者様の役割や楽しみごとの支援については、自分から動ける方などに支援が偏ってしまいがちになってしまっているので、ご利用者様の生活歴を踏まえた一人ひとりの支援と気分転換が図れるように努めたい。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば可能な限り職員が付き添い外出できるようにしている。ドライブ等での外出等が難しい場合は、敷地内の散歩や日光浴をして頂いている。	希望があれば可能な限り職員が付き添い外出できるようにしている。ドライブ等での外出等が難しい場合は、敷地内の散歩や日光浴をして頂いている。	コロナ禍で以前より外出の機会は少なくなったが、希望を聞き、コスモスや桜など花見ドライブなどは行っている。近くに道の駅があるため、おやつなどを持って出かける事もある。天気が良い日は、グループホームの外に出て日向ぼっこなども行っている。以前はスーパーなどへ買い物も行っていた。コロナの状況を見て少しずつ外出の機会を増やしたいと思っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様全員が金銭管理が難しい方であり、ご家族様が管理されている。	ご利用者様全員が金銭管理が難しい方であり、ご家族様が管理されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様の了承のもと、希望時にはいつでも電話連絡が出来るようにしている。	ご家族様の了承のもと、希望時にはいつでも電話連絡が出来るようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や廊下、居間等の共用の空間は常に清潔が保てるよう、こまめな清掃を行っている。障害となるものは置かず、季節が分かるような花や飾りをして季節感ができるようにしている。また、温度や湿度等の環境整備にも心掛けている。	玄関や廊下、居間等の共用の空間は常に清潔が保てるよう、こまめな清掃を行っている。障害となるものは置かず、季節が分かるような花や飾りをして季節感ができるようにしている。また、温度や湿度等の環境整備にも心掛けている。	コロナ感染症対策で毎日換気・手すりなどの共用部は消毒をされ、廊下・リビングの掃除も行っているため清潔感があり臭いもない。リビングは食事をする場、くつろぐ場と別れており、3つあるソファにはそれぞれ利用者が寛がれている。季節の飾り物・創作品などあちこちに飾られており、賑やかである。2棟中1棟のグループホームは天窓から光も差し込み、廊下・リビングを明るく照らしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	決して広くはないが、共用空間であるリビングにはソファやテレビがあり、テレビを見て過ごしたり、一人になりたい場合は居室で過ごされたりと、それぞれ自由に過ごされている。	決して広くはないが、共用空間であるリビングにはソファやテレビがあり、テレビを見て過ごしたり、一人になりたい場合は居室で過ごされたりと、それぞれ自由に過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド及びチェストについては施設で設置しており、その他の物については、使い慣れた物を準備して頂くようお願いしている。	ベッド及びチェストについては施設で設置しており、その他の物については、使い慣れた物を準備して頂くようお願いしている。	入居時に馴染みのものを持ってきて頂くよう伝えているため、居室にはテレビや棚、飾り、写真など備え付け以外のものも多く持ち込まれていた方もおられた。制限は特にされていない。居室にはクローゼットも備え付けてある。1棟のグループホームには家族の宿泊部屋も常設されているが、居室は家族が宿泊されても十分な広さもあり、宿泊の際には使用できるよう簡易ベッドなども準備されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日頃の関りの中で、個々の出来る事を見つけ出し、出来ることがあれば職員が付き添い見守りながら、安全を確保しながら自立した生活が送れるように安全な環境作りにも努めたい。	日頃の関りの中で、個々の出来る事を見つけ出し、出来ることがあれば職員が付き添い見守りながら、安全を確保しながら自立した生活が送れるように安全な環境作りにも努めたい。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
		○	○	3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)			1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)			1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項目		取り組みの成果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない